



変わらないもの

副校長 保土澤 尚教

短く、暑さの厳しい夏休みを終え、いよいよ2学期が始まりました。様々な制約の中で、各ご家庭でも多くの工夫をされた夏休みだったかと思います。2学期のスタートとなりますが、学校の主役である子供たちの健康・安全を最優先に捉えながら、教育活動も工夫をして進めていきたいと思っています。

学校の授業では、子供同士が話し合う活動が制限され、グループ活動も思うように実施できない現状に、松仙小学校で大切にしてきた相互に学び合うことや、新学習指導要領に示されている「対話的な学び」そのものが困難であり、どうしたらいいのか協議を続ける日々です。しかし、「直接的な対話ができないからといって、対話的な学びができないということではない。」という立場で、各教室での工夫をしていきます。そもそも、教科書や資料などの教材と子供は対話を行っていることや、教師が子供の話し合いの橋渡しをしながら子供同士の対話を成立させることは可能であること、感想や考えをお互いに読み合う対話的活動を取り入れること等をこれまでは行ってきました。この状況でも可能な活動を追求していきます。

私が学級担任をしていた頃、聴力の低い児童を担当したことがありました。彼女は特別支援学校に通いながら、1か月に1回程度、私の学級に来て交流や学習に取り組んでいました。子供たちは、彼女とコミュニケーションをとる方法について様々話し合いました。当初は、「大きな声で話す」という意見が大半を占めていましたが、実際の交流の時には、思うような意思疎通とはなりません。しかし、彼女が帰る時に筆談ボードで「分からないこともあったけど、皆さんありがとう。」と伝えてくれました。子供たちは彼女が帰った後、「言葉の意味は伝わらないことがあって難しかったけど、気持ちは伝わっていて嬉しかった。」「書いて伝えれば意味ももっと伝わると思う。」「次の交流会は手紙の交流会にしてはどうだろう。」「すぐに全部読むのは難しいから、交流会に来る前に、どんなことをやるかお手紙で届けられないか。」「当日は自分たちもミニホワイトボードを準備しておこう。」等々、多くのアイデアが生まれたことを記憶しています。

子供は状況を捉えながら、自分たちなりの発想を生かして、様々な可能性にチャレンジしようとする力を秘めています。子供は関わりを求め、様々な関わりを通して成長していきます。互いの取り組みや思いが支えとなり、その支えが力となっていくことは、変わることはないサイクルと言えそうです。

また、去る8月1日(土)には、本校おやじの会によるオンラインイベント「おかしづくり」も開催されました。各ご家庭でお子様とご家族と一緒に活動をする様子や、おやじの会の皆様が料理番組そっくりの場面設定をしてくださったことで、新たな関わりとチャレンジの場が生まれ、子供たちと一緒に私自身も生涯初の「マーガリンで薔薇作り」に挑戦することができました。上手にはできませんでしたが、とても楽しい時間でした。

学校の教育活動再開に伴い、感染症拡大防止に向けた取り組みや熱中症対策も引き続き行っていきます。本校でも、継続して新しい生活様式に取り組みながら、具体的に「何をするか」を指導することはもちろん、「何のために行うのか」を改めて子供たちと考える教育活動を進めてまいります。「誰もが体調悪化する可能性がある」という認識のもと、子供たちの発達段階に応じて学べるようにすることで、「正しく恐れる」ことにつなげ、望まない差別等にならないよう指導していきます。ご家庭でも、ぜひお子様と改めてお話しながら、一緒に考える機会を設定していただければと思います。

長い2学期となりますが、本学期もどうぞよろしくお願いいたします。

地域教育連絡協議会の皆様を

ご紹介いたします

三木 伸良 様 (久が原西自治会 会長)
 石井 均尚 様 (道々橋自治会 会長)
 池田 茂樹 様 (雪谷高校 校長)
 小島 知広 様 (民生児童委員)
 平林 恭子 様 (民生児童委員)
 緑川 京子 様 (青少対委員・本校特別支援員)
 西村 剛 様 (本校 P T A会長)
 成行 書史 様 (本校 おやじの会 会長)

学校支援地域本部(サポート松仙)の皆様を

ご紹介します

会長 関口 尚史 様
 副会長 小澤 紀子 様
 コーディネーター— 緑川 京子 様
 須藤 彰子 様
 原田 美奈子 様
 小山 由絵 様
 事務局 田中 昌利 様

一年間お世話になります。よろしくお願ひいたします。

「あと333日」

～オリンピック・パラリンピック教育～

オリパラ推進担当 5年4組担任

感染症の影響により、東京オリンピック・パラリンピック競技大会は1年の延期となりました。この1年を貴重な時間として、児童にオリパラについての興味・関心をさらに高めていきたいと思い、学校一丸となって取り組んでいきます。

まず、今年度は児童アンケートを実施し、学校の実態把握をしました。結果は、

開催されることを知らない。 約 23.7%。

オリンピック競技種目をほとんど知らない。 約 22.4%

パラリンピック競技種目をほとんど知らない。 約 30.3%

上記のように、一定数「知らない。」という実態がありました。この数字を少なくすることが競技大会を知るきっかけ、さらには、興味・関心につながるのではないかと考えます。そこで、学校では、ポスター掲示などを中心を知る機会を増やしていきます。ポスターから様々な種目、選手、記録、国に関心をもち、国際理解につなげるとともに、児童が体を動かすことの心地良さや楽しさを味わえる環境づくりに努めていきます。

8月下旬～9月の行事予定

日	曜	行事等	放
24	月	始業式 避難訓練(引き渡し) 4時間授業	×
25	火	給食始 委員会(9月)	×
26	水	特別時程 発育測定 6	×
27	木	発育測定 5	×
28	金	発育測定 4	×
29	土		
30	日		
31	月	放送昼会 発育測定 3	×
1	火	発育測定 2	×
2	水	特別時程 発育測定 1	×
3	木	避難訓練	×
4	金	開校記念日	×
5	土		
6	日		
7	月	放送昼会 水道キャラバン 4	×
8	火		×
9	水	特別時程 尿検査容器配布	×
10	木	安全指導 社会科見学 5	×
11	金	大田区漢検① 尿検査(1次)	×
12	土	土曜3時間授業(月123) 土曜補習②	×
13	日		
14	月	放送昼会 尿検査(1次)	×
15	火	クラブ①	×
16	水	4時間授業 眼科検診 156 校内研究授業	×
17	木		×
18	金	社会科見学 3	×
19	土		
20	日		
21	月	敬老の日	
22	火	秋分の日	
23	水	特別時程	×
24	木	社会科見学 4	×
25	金		×
26	土		
27	日		
28	月	放送昼会	×
29	火	委員会(10月)	×
30	木	特別時程 尿検査(2次)	×

※○印の日が放課後遊びあり

【見方】

- 半角数字は学年 (例：遠足 4 = 4年生の遠足)
- hは実施の時間 (例：1h = 1時間目)
- ○数字は回数 (例：クラブ① = クラブ1回目)